



令和6年度 臨時号

祥豊だより



TEL 075-691-2486

ひとりひとりの児童が活躍する学校づくり

～学校・保護者・地域が承認・つながる学校を目指して～

「心」も「環境」も

京都“I”美しい学校

令和6年10月31日
京都市立祥豊小学校
校長 森口 光輔積極的に
配信中♪

令和6年度 学校教育目標

「ひとりひとりの児童が活躍する学校づくり

～学校・保護者・地域が承認・つながる学校を目指して～

京都“I”美しい学校

《目指すこども像》

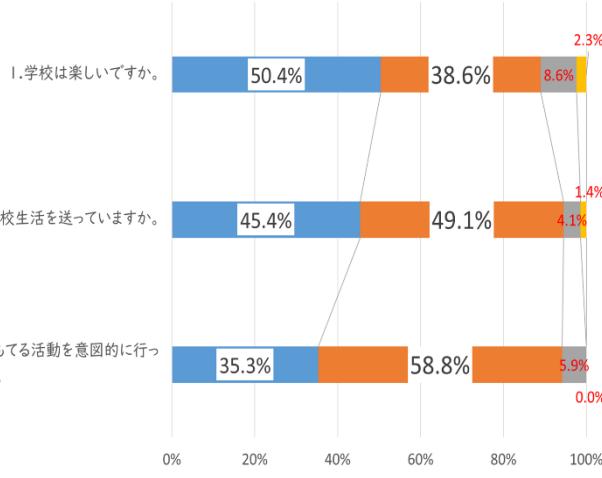
○やってみる子

○自分も相手も大切にする子

○思いや考えを伝え合う子



令和6年7月に実施いたしました第1回学校評価アンケートの結果がまとまりましたのでご報告させていただきます。



全ての子どもが『学校が楽しい』と感じられるように、子どもたちが主体的に活躍できるような取組の創出、学習が楽しいと思えるような授業の在り方の工夫や改善、友達とよりよく関わることができるような学級・学校経営、気持ちよく学校生活を送れるような環境整備を行っていきます。

○やってみる子



新しい学年になって、新しい教科の学習や自由進度学習をはじめ複数の教職員による教科交換の授業、家庭での自主学習など、自分で課題を解決していく学習の仕方に少しとまどっている様子も見られます。授業の中で落ち着いて学習に取り組むことができるよう、学年間や異学年間で課題を話し合い、学習の方向性を一致できるよう、努めてまいります。

一方で、『本を読む』項目に関しては、子どもの割合が上がっています。学級での読書指導をはじめ、図書館司書の取組や学校図書館の環境整備など、子どもたちが本を手に取りやすい環境・雰囲気作りができた結果かと思われます。ぜひ、お家でも声かけや読書をしやすい雰囲気づくりにご協力お願いします。



○自分も相手も大切にする子



『きまりを守る』『安全に遊んだり登下校したりする』については、これからも学級指導や全体指導を行ってまいります。安心・安全な学校生活を送るために、今一度「学校のきまり」と一緒に見ていただき、ご家庭でもお話ししてください。

『友達・周りの人を大切にする・大切にされる』『自分のよいところや得意なところをのばそうとしている・励ましている』の項目では、大人の尺度だけで見るのではなく、子どもの立場に立って考えることが大切ではないかと思われます。また、「励ます」ことで子どものやる気や優しさを促すことはとても大切です。よいところを「タイミングよく」「心に届く具体的な言葉」で子どもに伝えることで、自己肯定感を高め、自分も相手も大切にする気持ちが向上するよう関わってまいります。

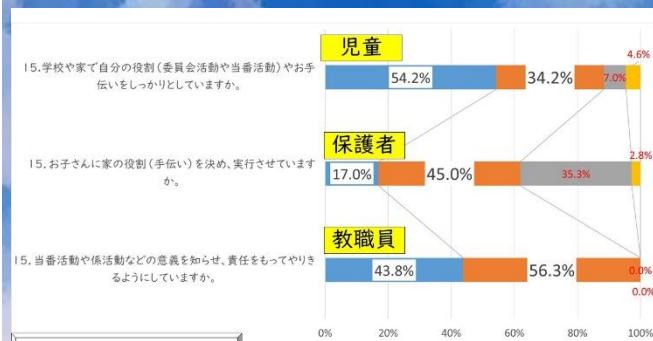
『スマートフォンやタブレット(GIGA 端末を含む)を使うルールや約束を守る』の項目では、児童と保護者で大きく差が開いています。情報化社会の現代において、ICT 機器を上手に使うことで、利便性だけでなく、人との関わりや自己表出にも役立ち、ものを大切にしたりきまりを守ったりすることが相互に関係してモラル意識を向上させていきます。これからも、よりよい ICT 機器の使い方を一緒に考えていきたいです。

○思いや考えを伝え合う子



児童と保護者の比較で、違いが見られました。保護者の方は、授業参観など限られた時間で判断されていることも原因の一つではないかと考えられます。子どもたちが自分の思いや考えを伝えるのは、一斉授業での発表だけでなく、ペアやグループでの話し合いなど、どの教科でもたくさんの機会があります。自分の考えを、相手を意識して言葉を選びながらアウトプットすることで、自分の考えを確かにします。子どもたちが自信をもって「自分の思いや考えを伝えることができた」と思えるように、授業形態や意図的な話し合う場の設定など、誰もが授業に参加し、課題を解決できるように工夫していきたいと思います。

○児童が主体的に活動する学校

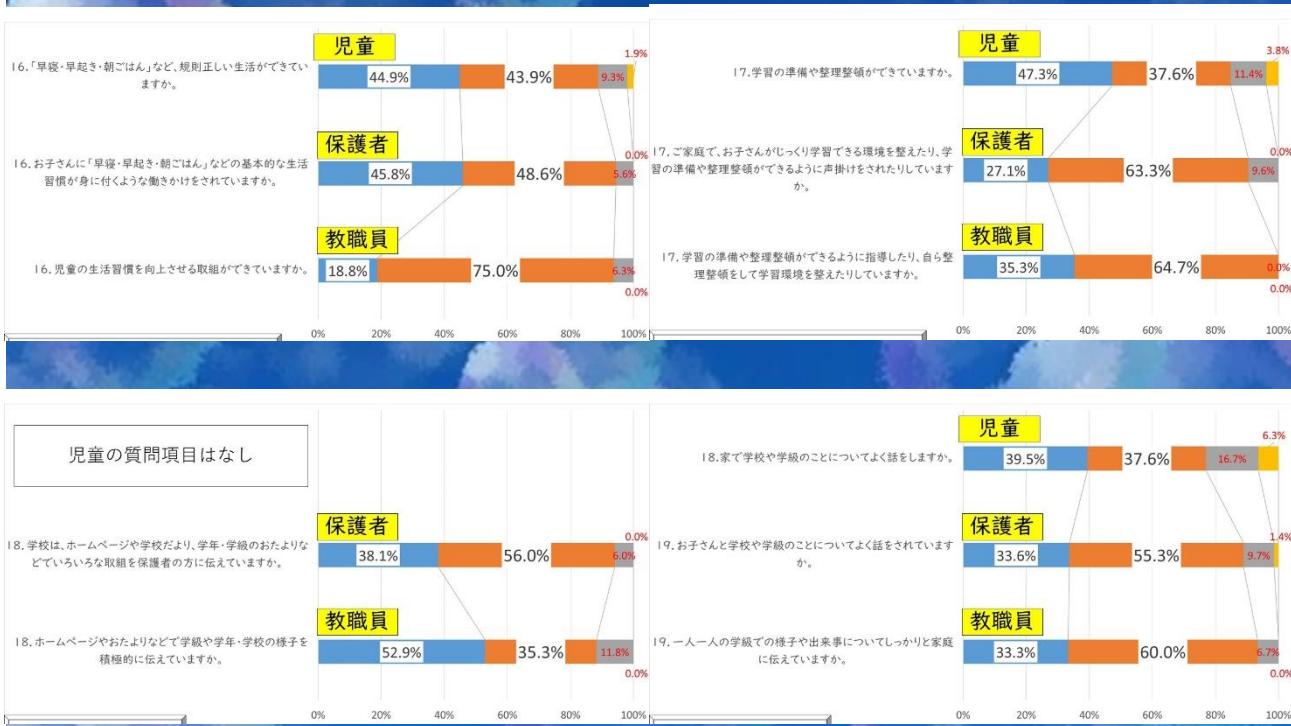


児童と保護者の比較で、違いが見られました。学校では、給食当番や掃除当番などの活動、自主的に企画し学級全体に返す係活動、学校をよりよくするためにどうすればいいかを考え、常時もしくは自主的に活動する委員会活動などを通して、社会に関わり自己有用感を高める活動を行っています。5・6年生の家庭科の学習でも、「家庭での役割」をもつことが大切であることを学びます。ぜひお家でも、低学年の内から家庭での役割をしっかりともたせてください。そして、その役割を達成した時にしっかりと承認することで、次への生活や学習への意欲につなげることができます。



○凡事徹底(ルールをしっかりと守ることが)できる学校

○積極的に発信する学校



毎日のお家でのご準備やお声かけありがとうございます。基本的な生活習慣を身に付けることは、毎日のよいルーティーンを生み、心の余裕につながります。前述した「学校が楽しい」と全ての子どもが思えるように、引き続き、気持ちよく学校に向かうことができる雰囲気をつくりていただきますようよろしくお願ひします。また、整理整頓については、学校教育目標「京都『I, 美しい学校』」を達成するために、教職員全体で取り組んでいき、子どもたちにも声をかけていきます。「心」も「環境」も整え、気持ちのよい学校生活を送れるよう、常に意識していきたいと思います。

ホームページや学校だより、学年・学級だよりの閲覧ありがとうございます。教職員のHP発信数と保護者の方のHP閲覧数が、「そう思う」「大体そう思う」の割合が大幅に上がっていることに関係していることがよく分かります。(令和6年度 9月27日現在の発信数2304件、アクセス数;23078件)また、この結果が教職員のやる気にもつながり励まされています。今後も、引き続き取組の様子や子どもたちの活躍する姿などを発信していきます。楽しみにしてください。

一方で、『家で学校や学級のことについて話をする』の項目が、児童での割合が少なく感じます。HPではあらわせきれない内容や様子については、子どもたちから生の声を聞きたいものです。子どもたちがお家に帰って「話したい!」と思えるような授業や活動などを少しでも増やせるように頑張っていきたいと思います。

カテゴリ

- TOP
- 学校教育目標・経営方針(1)
- 学校評価結果等(3)
- 学校沿革史(1)
- 学校の様子(166)
- 1年生(197)
- 2年生(250)
- 3年生(298)
- 4年生(306)
- 5年生(316)
- 6年生(272)
- 4組(18)
- 校長室より(384)
- 保健室より(6)
- 学校運営協議会(86)

最新更新日：2024/09/27

本日：113
昨日：157

年間集計

2024年度：23078件

○積極的に承認する学校

○新たに学ぶ 改善に努める教職員



「そう思う」「大体そう思う」の割合が約87%以上である一方で、「あまりそう思わない」「そう思わない」の割合の児童や保護者の方がいるという結果に目を向け、一人一人のことを考えながら、しっかりと耳を傾けて関わり、迅速に解決することができるよう努めています。子どもたちが「関わってくれた」ともっと実感できるように、全ての子どもたちについて、担任だけでなく学年間や異学年間、学校全体、時には外部機関とも共有し、全体の様子及び個々の子どもたちの様子を把握して丁寧に関わっていきます。



『学校・家庭・地域と連携して「地域ぐるみ」の教育を推進している』の項目では、「そう思う」「大体そう思う」が高い割合を示しています。町別での登校の見守りやPTAの活動をはじめ、様々な地域の方の活動を支えていただいたり参加していただいたりしているおかげと思われます。これからもご協力よろしくお願ひします。

また、『よりよい祥豊小になるよう、様々な取組に臨んだり、改善に努めたりしている』の項目では、「そう思う」「大体そう思う」の割合が保護者・教職員が90%をこえている一方で、教職員の割合が100%になっておらず、意識の改革をさらに進めていきたいと思います。

これからも、今まで培ってきたことを大切にしながら、教科交換・チーム担任制や自由進度学習など新しいことにもチャレンジしつつ、一人一人を大切にした取組を進めていきたいと思います。

○自由記述欄より



- ・プールの授業数が極端に少なくなった気がします。
- ・水泳の授業を、学校ではなくスイミングスクールで行うことになった経緯やそれに伴う費用などについて、説明が不足しています。
- ・プールの授業がスイミングスクールになった変更事項について、きちんと理由を説明してほしいです。(説明してもらったこともありましたが、ないものもあったように思います。)
- ・プール授業は何回あるのか、事前に教えてもらえるとありがとうございます。

今年度は、スポーツプラザエースとの連携により、各学年2時間×6回を割り当てています。水泳学習は、学年ごとに時数が決まっており、それに準じています。昨年度末から、何度も入念に打ち合わせを行い、日程調整や指導の仕方、送迎についてなどを話し合ってきました。教育委員会も含めた話し合いがぎりぎりまで続いてしまい、詳しい詳細を十分に保護者の皆様にお伝えすることができず申し訳ございません。初めての試みのため、試行錯誤しながら子どもの様子に合わせて、改善している最中です。気にかかることがありましたら気兼ねなくご相談ください。



メリットとしては、天気や温度に左右されずに安心して確実に水泳学習を行うことができます。また、インストラクターがそれぞれのグループについて指導をするため、子どもたちは自分の泳力に合わせて主体的に学習に取り組むことができます。その際、担任は評価の観察や動きの指示に集中することができ、子どもに声をかけやすい状況を作ることができます。また、準備や片付けなど環境整備面でも全面的にサポートされており、その分他の学習の準備や関わりに時間を割くこともできます。一方で、日程調整や担任とインストラクターの連携の仕方、水泳参加に関する連絡方法など、課題が見えてきた部分もあります。よりよい水泳学習となるように、今年度の取組を振り返り、次年度に生かしていきたいと思います。



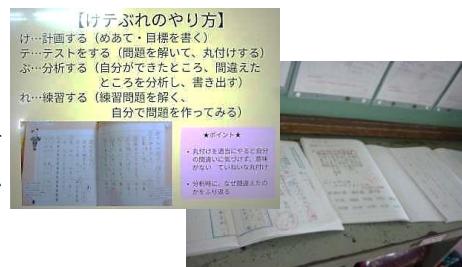
- ① チーム担任制や宿題のやり方など、新しいやり方について、きちんとした説明がないので不安が募る。
- ② (4・5・6年で行っている) けで、ぶれの効果がいまいち分からないです。家庭でのフォロー、促しも難しいです。

① 本校のチーム担任制は456年生で行っています。チーム担任制の最大のメリットは、これまでの固定的な学級担任制を脱し、複数の教職員が複数の児童に関わることで、児童と教職員が多面的な理解と多様な関わりで結びつく関係性を築き、学習指導・生徒指導をはじめとする学級経営の安定に努めることができる事だと考えています。

また、教科交換をどの学年も1～3教科行い、児童理解はもちろんのこと、教員同士が学習規律や児童の成長を学び合うことで、互いに指導力を高め、児童の学力向上に繋げられるようにと取組をすすめています。



②ご心配をおかけしてしまいました。申し訳ありません。「けテぶれ」とは、「計画・テスト・分析・練習」という学習のサイクルを指しています。目標に向かって、問題を主体的に解決していく力を、宿題の中でも身に付けていくことを目的としています。初めての取組で「何をしていいかわからない。」「したいことが分からぬ。」「あっているのか不安。」といった児童もいます。そういった児童には、個々に関わってやり方と一緒に考え、今まで通りの宿題のやり方も認めています。また、2学期以降も宿題の進度を丁寧に把握するとともに、児童の取組に対してアドバイスを行うことで不安を取り除き、自信をもって臨むことができるように努めます。保護者の皆様にも取組の方法や実態を積極的に発信し、学校と家庭とで連携して、子どもたちを支えていければと思います。一方で、「学ぶことが楽しくなった。」「学び方が分かった。」という声も聞かれ、実際にテストの点数が伸びたり、学習に対する姿勢が変わったりした児童もいます。全員に合う一律の学習方法を見つけることはなかなか難しいと思われます。今後も、一人一人に合う学習方法を見つけられるように支えていきますのでご理解、ご協力のほどよろしくお願いします。



・授業の進め方を自由進度にしたそうだが、保護者への説明がなく、子どももいまだに慣れず授業が分からないと毎日言っている。親がその分毎日教えたり進度を確認したりしないといけないので、すごく負担が増えた。授業中うろうろと歩く時間もあるので、長時間集中出来ない人間になりそう。とにかくどういった授業をして何を目指しているのか分からぬのをきちんと説明して欲しい。

「自由進度学習」とは、子どもが自分のペースで進める学びのことです。一定のルールや約束事の下で、子ども自身が自分で学習計画を立て、様々な教材や資料を使ったり、一人やペア、グループで話し合ったりしながら自力で学びを進めていきます。現代の社会において、一人一人の興味・関心や発達状況などを踏まえ、それぞれの個性を伸ばし、個に応じた教育、学習環境を整えることが今まで以上に求められているため、最近注目されており、本校でも教職員が事前に計画を入念に立てて、チャレンジしています。



「自由進度学習」を進めることで、子ども一人一人の困り事や学力の違いなどに対応しやすく、自分に合った内容やペースで学べるため、学習意欲や理解度が高まりやすくなります。自分なりに試行錯誤しながら学習を進めることで、「自己調整力」や「主体的に学ぶ力」が育まれると考えられます。



また、授業担当者にとっても、子ども一人一人の学習状況や理解度を細かく把握しやすくなります。一方で、事前の準備や単元計画など、綿密な見通しをもつことが重要なので、ここに時間を割いて計画・準備を行っています。GIGA 端末の活用も含め、自分が作った課題に向き合い、様々な方法を使って調べたり考えたりまとめたりし、自分の考えを表出・比較・総合することで、課題を解決できるように、全教職員でチャレンジしていきたいと思います。



気になることがあれば、気兼ねなく担任又は授業担当者にご相談ください。



- ・雨の日にタブレットを持ち帰らせるのは、止めて欲しいです。濡れてしまう原因にもなりかねないので。
- ・タブレットを毎日持ち帰っているが、宿題を確認するのと充電しか利用していない。毎日重たいのに持ち帰る必要があるのだろうかと思う。

ご心配おかげして申し訳ございません。1人1台端末が配布されて3年が経ちました。現在取り組んでいる「KYOTO×教育 DX ビジョン」では、教育活動のあらゆる場面での子どもたちの主体的・積極的な活用が求められています。実際に本校では、高学年ではほぼ毎日活用しています。「令和の文房具」とまで言われている GIGA 端末をより効果的に利活用していくために、ぜひご協力いただきますようお願いします。現在は、1人1つお貸ししている GIGA 端末バッグに入れて持って帰っており、雨の日はさらにランドセルの中に入れて濡れないような工夫をするなど、家庭への持ち帰りに関しては、安全に持ち帰ったり、臨機応変に対処したりできるよう、教職員で話し合ってよい方法を模索していきたいと思います。



- ① 学校から発行される文書の日程の間違いが多いので改善してほしいです。発行責任者はもっと確認してほしいです。
- ② アンケートの4つの回答が、全部同じなのは答えづらいと言うか、意味が分かりづらいと思うので、改善してもらえた良好だと思います。
- ③ 山の家説明会について、配信日を変えたり変更点がある場合は子どもに口頭で伝えるだけでなく「すぐーる」を活用してすぐ連絡して欲しい。「すぐーる」の活用が全く生かされていないように感じる。
- ④ 卒業式での女子の服装について、学校から袴の禁止を指示していただきたいです。保護者の負担、大事な式典での子どもの差別を生まないためにも、ぜひともご検討ください。

- ① 発行文書の間違いに関してご迷惑をおかけして申し訳ございません。担当学年や担当者、管理職が確認はしていますが、日程の間違いがないようこれからも気をつけていきます。変更があった場合は、すぐに「すぐーる」や HP などで訂正を伝えさせていただきます。
- ② 学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございます。今回の学校評価アンケートは、学校教育目標にある「を目指す子ども像・学校像・教職員像」に関わってアンケートを行っています。また、児童・保護者・教職員へのそれぞれの質問が連動するように内容を考えています。アンケート集計後、多大な情報量を分析するためにこのような回答（そう思う・大体そう思う・あまりそう思わない・そう思わない）として作成していることをご理解いただけたとありがたいです。また、思いを伝えにくい場合は、自由記述欄に遠慮なくご記載ください。
- ③ 現在、すぐーるを活用して、週末の予定表や学校だより、緊急にお知らせしたいことなどを学校や担任などから発信させていただいている。また、毎日の欠席・遅刻・早退連絡や水泳学習の健康観察なども保護者の皆様から連絡いただき、業務の改善に生かされています。ありがとうございます。山の家の説明会を含め、急な変更などについてすぐーるを十分に活用できていなかったことについては、以後気を付けて、さらなる活用方法を模索していきたいと思います。
- ④ 年度当初に、「華美にならなくてもすてきな卒業式になるように」と学年に声をかけています。ご理解・ご協力どうぞよろしくお願ひします。

その他、このようなご意見・ご感想がありました。(一部抜粋、中略あり)

- ・いつも子ども達の安全に配慮し、元気に帰宅させていただきありがとうございます。また、先生方や上級生学校全体で子どもに話しかけてくださっていて毎日楽しそうに登校しています。
- ・いつも丁寧で柔軟なご対応ありがとうございます。今後もどうか、ご無理のない範囲で、ご支援いただけますと幸いです。引き続きよろしくお願ひします。
- ・校長先生がかわって、非常に親身になってくださるようになった。今まで、校長先生や教頭先生がかわったくらいで何が違うのか、と思っていましたがここまで変わると本当に有難い限りです。
- ・いつもとても気にかけて下さり、ご連絡して下さるのでとてもありがとうございますし安心してお任せできます。
- ・今日学校でこんな事がありました、褒めてあげてくださいなど言って下さるのがとても嬉しいです。何かあればすぐご対応して下さるので親も不安なく過ごさせて頂いています。"
- ・ホームページで積極的に情報発信されていて、先生方の取り組みがわかるのはとても良いと思います。(積極的に見ている保護者は少ないかもしれません)子どもに対する学校の考え方を伝わります。制約が多い中ですが、更により良い学校になることを期待しています。
- ・参観やホームページを通して、子どもの様子が良くわかります。また、先生方の研修なども多くスキルアップされている印象があります。いつも子どもたちのために本当にありがとうございます。
- ・学校がより良くなるような活動をたくさんしていただいて、おかげで子どもが学校生活を楽しく過ごすことができていると思います。
- ・毎日ホームページを楽しく拝見させて頂いております。子ども達が楽しそうに学校生活を送っている様子や学んでいる姿を見ることができ、自宅でも子どもと話しながら見ています。
- ・いつも子どもたちのことを思い、より良い学校生活が送れるよう学習環境や生活環境を整えてください、子どもたちへも丁寧な関わりをしてくださいありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。良いところを見つけて褒めてくださったり、やる気にさせる声掛けにより、本人も自分なりに考えチャレンジする姿勢が育っていると感じております。子どもたちのために本当にありがとうございます。
- ・毎日楽しく学校生活をおくらせていただいております。
- ・毎週金曜日の次週時間割りが送られてくるときに、先生の色々な思いや決意が書いてあり、とても嬉しいになります。高学年になると、子どもたちが反抗的になったり、難しくなる中、褒めることより怒ることが増えがちな先生が多いのに、先生はいつも前向きに接してくれていると感じます。
- ・漢検が学校で開催されなくなってしまったのが残念。希望者だけのものではあるが、学校で実施してもらえるのが非常にありがとうございます。本人のモチベーションにもなっていたので、ぜひ再開してもらいたいです。

まとめ

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。今回の意見を参考に、一つずつ課題を解決していく、よりよい祥豊小になるよう教職員全員が一致団結して取組・改善を進めていきたいと思います。

また、子どもたちとの関わりや、学校教育活動の取組について、このような励ましの言葉は、教職員にとってとても強力なパワーになり、子どもたちへ還元する源になります。今回の学校評価アンケートの結果を真摯に受け止め、これからの中学校生活に生かしていきたいと思います。引き続き、学校教育活動へのご理解・ご協力をよろしくお願ひいたします。

最後になりましたが、子どもたちの学校での様子やよりよい学校を創るための取組など、これからも随時ホームページにて発信させていただきます。時折見ていただけるとうれしいです。これからもご理解・ご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

(祥豊小 HP→

